

7月13日は、飲酒運転根絶の日

北海道飲酒運転の根絶に関する条例

飲酒運転をしない、させない、許さない

北海道警察 飲酒運転の摘発強化へ 夏の交通安全出動式

2016/07/12 07:00

夏の交通安全運動が11日始まり、道警は道庁赤れんが庁舎前で出動式を行った。期間中の13日には、2年前の小樽飲酒ひき逃げ事件などを受け制定された「飲酒運転根絶の日」を初めて迎え、道警は飲酒運転の摘発を強化する。式では交通部長が「夏の行楽期の事故を抑止するため、飲酒運転など悪質な違反の取り締まりを強化してほしい」と訓示。続いて、交通機動隊員約40人がパトカーや白バイに乗り込み巡回に向かった。道警によると、道内の今年の飲酒運転による交通事故死者数は11日午前0時現在、前年同期比1人増の9人となっている。夏の交通安全運動は20日まで。

熱中症に注意、「水分補給」 積卸作業足元に注意

事故を起こしてから、後悔してどうする？

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中すること

子供・高齢者は、動く赤信号！

高齢者、子ども事故防げ 夏の交通安全運動

2016年7月11日(月)17時5分

夏の交通安全運動が11日始まり、早朝から静岡県内各市町で街頭広報活動が行われた。運動の重点は「高齢者と子どもの事故防止」「交差点の事故防止」「二輪車の事故防止」の3点。20日までの期間中、県警は事故につながりかねない交通違反の取り締まりを強化する。

車道を、広がって集団蛇行走行する自転車には注意しましょう

追跡のパトカーが接触、自転車の少年けが

2016年07月11日 22時56分

11日午前2時10分ごろ、滋賀県で警察のパトカーが自転車4台を追跡中、うち1台の自転車と接触し、運転していた建築作業員少年(15)が右足に軽傷を負った。警察によると、男性巡查部長(31)運転のパトカーが、車道を広がって蛇行運転する自転車4台を発見。マイクで停止を求めながら追跡し、前に回り込むため右側から追い抜こうとしたところ、自転車と接触したという。副署長は「適正な職務執行だと考えているが、状況を調査して再発防止に努めたい」としている。

飲酒運転の僧侶、横断中の女性をはねた疑いで逮捕 女性は重傷

現場は、信号や横断歩道はなかった...

2016.7.9 12:15

群馬県警は9日、飲酒運転をして女性(74)をはねたとして、自動車運転処罰法違反(過失傷害)と道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、僧侶の男性容疑者(45)を現行犯逮捕した。女性は重傷とみられる。逮捕容疑は9日午前5時10分ごろ、群馬県の県道で酒気を帯びた状態で軽乗用車を運転し、横断していた女性をはねた疑い。警察によると、現場は、信号や横断歩道のない直線。容疑者は「ブレーキをかけたが間に合わなかった」と話している。

自衛官が酒気帯び疑い

下り坂の緩やかなカーブ...対向車線にはみ出し、ガードロープに衝突

2016年7月10日(日)11時22分

猪苗代署は9日午前1時45分ごろ、酒気帯び運転の疑いで、自衛官の男性容疑者(24)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は、福島県の国道で、酒気帯びの状態でも乗用車を運転した疑い。同署によると、容疑者は走行中に、下り坂の緩やかな左カーブで対向車線側にはみ出し、ガードロープに衝突した。近隣住民の通報で現場に駆け付けた同署員が容疑者の呼気検査をしたところ、基準値を上回るアルコールを検出したとしている。

酒気帯び逮捕の医師、患者危篤で病院向かう途中

2016年07月10日 14時27分

警察は9日、長崎県の医師の男性(59)を道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕した。発表によると、男性は同日午前2時10分頃、国道で、酒気を帯びて軽乗用車を運転した疑い。検問で停止しなかったため、パトカーで追走。飲酒検知をしたところ、基準値を超えるアルコール分が検出された。男性は受け持ちの患者が危篤になったとの連絡を受け、約10キロ離れた宿舎から車で病院に向かっていた。離党で放射線治療ができる唯一の医師といい、県庁で記者会見した病院の総務部長は「離島で放射線治療ができなくなると、患者の負担が大きくなる」と険しい表情で語った。